

# 執筆規程

## 1. 論文の書き方

表紙頁，要旨，本文，文献，図表，図表の説明文で構成する。

原則として，マイクロソフトWordファイルとする。

原稿には，ページ番号，行番号を記載する。

## 2. 原稿の規程分量

- 1) 「総説」「原著」は，和文要旨・文献・図表を含み，12,000 字以内で執筆する。図表は，刷り上がり1/4頁大のもの1個を400字として換算する。
- 2) 「短報」は6,000 字以内で執筆する。図表は，刷り上がり1/4頁大のもの1個を400字として換算する。
- 3) 「症例報告」は，要旨・本文・文献・図表（5枚以内）を含み，9,600 字以内で執筆する。

## 3. 表紙頁

- 1) 論文には表紙頁をつける。
- 2) 表紙頁には，①希望する論文の種類（総説，原著，短報，症例報告，活動報告，その他）②標題③著者名（共著者を含めて記載）④所属名（共著者を含めて記載）⑤責任著者連絡先（氏名，所属，会員番号，郵便番号・住所，電話番号・メールアドレス）を記載する。  
全ての論文の標題には英文タイトルを付ける。

## 4. 要旨

全ての論文には和文の要旨（400 字以内）をつけ250語以内の英文アブストラクトをつける。要旨のあとに3～5個程度のキーワードを付ける。なお，英文要旨は，ネイティブ・スピーカーの校閲を著者自身の責任で受ける。

## 5. 本文

- 1) 本誌のホームページより，本誌が規定するフォーマットをダウンロードして使用する。
- 2) 余白25 mm，40文字×30行のレイアウトで，フォントはMS明朝体，標準，10.5ポイントを使用する。英数字はMS明朝体とし，半角とする。
- 3) 文章は楷書・横書き，口語体，現代かな遣い，数字は算用数字，単位は原則として国際単位系（SI 単位）を用いる（長さ：m，質量：kg，時間：s，温度：℃，周波数：Hzなど）。
- 4) 章は1，2…，節は1)，2) …，項は（1），（2）…，以下①，②…とする。
- 5) 句読点は，日本文の場合は全角の「，」「。」を使用し，英文は半角の「,」「.」を使用する。

## 6. 図表

- 1) 図・写真・表：図・表は本文に出てくる順に，それぞれ一連番号をつける。グラフィック表現お

および写真は図に含める。図の番号および表題は、図の下に、表の番号および表題は、表の上につける。図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可をとり、投稿時に許可書を提出する。図表の説明（キャプション）は、図表の後に頁をあらたにして記載する。スライド図・表は投稿用に作成し直す。

- 2) 他書（他誌）から図表等を転載する場合は、原稿の一部となるため、論文著者の責任において著作権者に許諾申請を行い、使用した図表にはその旨を記載する。また、出典を明記する。Webサイトに掲載されている著作物（写真など）についても同様に扱う。無断転載は著作権の侵害となる場合があるため注意する。以上について編集部は一切の責任を負わない。

## 7. 論文の構成

### 1) 「原著」「短報」の構成

- (1) 標題（表題）：内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。原則として略語・略称は用いない。用語は本文に用いた言語とし、キーワードを含むように配慮する。
- (2) 著者名：著者は当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最小限に記載する。審査開始後の著者の変更は原則認めない。
- (3) 要旨：「目的」「方法」「結果」「結論」について項を分けて簡潔に記載する。
- (4) キーワード：3～5個程度とする。標題および要旨より抽出し、不十分な場合は本文から補充する。国際的に広く通用する言語（英語など）または日本語で記載する。
- (5) 本文：本文は原則以下の項目に沿って本文を構成する。
  - ①はじめに（序論、緒言）：研究の背景、臨床的意義、研究の目的、取り扱っている主題の範囲、先行研究との関連性などを記述する。
  - ②対象および方法：用いた研究方法について第三者が追試できるように記述する。倫理的配慮も記述すること。
  - ③結果（成績）：研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。データは、検証、追試を行いやすいように図（グラフ）よりも表にして数値で示す方が望ましい。
  - ④考察（分析）：結果の分析・評価、今後の課題などを記述する。
  - ⑤結論：研究で得られた結論を 200 ～ 300 字程度で簡潔に記述する。
  - ⑥利益相反：利益相反に関し、投稿時に利益相反の有無について開示する。
  - ⑦謝辞：著者資格に該当しない研究への貢献者、および助成金受給等について記載する。
- (6) 文献：引用文献のみを、本文の引用順に記載する。（記載方法は下記参照）

### 2) 「症例研究」の構成

- (1) 標題（表題）：内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。原則として略語・略称は用いない。用語は本文に用いた言語とし、キーワードを含むように配慮する。
- (2) 著者名：著者は当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最小限に記載する。  
審査開始後の著者の変更は原則認めない。
- (3) 要旨：「はじめに」「症例紹介」「経過（結果）」「考察・まとめ」について項を分けて簡潔に記載する。

- (4) キーワード： 3～5個程度とする。標題および要旨より抽出し、不十分な場合は本文から補充する。国際的に広く通用する言語（英語など）または日本語で記載する。
- (5) 本文：本文は原則以下の項目に沿って本文を構成する。
- ①はじめに（序論，緒言）：対象を選択した理由や根拠を記述する。
- ②症例紹介：症例の基本的事項；基本情報（年齢，性別等），病歴（現病歴，必要であれば既往歴，家族歴，社会生活歴），臨床検査所見，理学療法評価結果，理学療法方針・介入内容を簡潔に記述する。倫理的配慮およびプライバシーの保護に関しては，投稿規定「研究倫理」の記載内容に従うこと。
- ③経過（結果）：介入経過（結果）を簡潔に記述する。
- ④考察：過去の報告との類似点や相違点について比較検討を行い考察する。今後の治療の展開・方針転換や研究への広がりがある場合は，それらの提案についても記述する。
- ⑤まとめ：症例を通じて明らかになった点を簡潔に記述する。
- ⑥謝辞：著者資格に該当しない研究への貢献者，および助成金受給等について記載する。
- (6) 文献：引用文献のみを，本文の引用順に記載する。（記載方法は下記参照）
- (7) その他：編集部の判断により，症例検討の内容によっては「原著」「短報」の構成で本文の再構成を指示する場合がある。

## 8. 文献

引用文献は，本文の引用順に並べる。雑誌の場合は，著者氏名，論文題目，雑誌名，巻，頁（最初～最終），発行年（西暦）の順に書く。単行本の場合は，著者氏名，書名，編集者名，発行所名，発行地，発行年（西暦），頁を記載する。文献の省略は，公の省略法（Index Medicus など）に従う。引用文献の著者氏名が4名以上の場合は，最初の3名を記載する。その他は，他，または et al. とする。

「,」 「.」 「:」 「;」 は必ず半角で記載し，そのあとに半角スペースを入れる。文献の記載は，下記の【例】に則って正確に記載する。

### 【例】

#### 論文より引用する場合（和文誌，英文誌）

- 1) 大倉和貴，甲斐 学，川越厚良，他.：高負荷圧吸気筋トレーニングが若年競泳選手のパフォーマンス向上へ及ぼす効果. 日呼ケアリハ学誌 24：268-274，2014.
- 2) Langer D, Charususin N, Jácome C, et al.：Efficacy of a Novel Method for Inspiratory Muscle Training in People with Chronic Obstructive Pulmonary Disease. Phys Ther 95：1264-1273，2015.

#### 単行本より引用する場合

- 3) 信原克哉：肩—その機能と臨床—（第3版）. 医学書院，東京，2001，pp. 156-168.
- 4) Kocher MS：Evaluation of the medical literature. Chap 4. In: Morrissy RT and Weinstein SL (eds)：Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2006，pp. 97-112.

- 5) 名郷直樹：EBM の現状と課題，エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際. 内山 靖（編），医歯薬出版，東京，2008，pp. 18-38.

#### Webページから引用する場合

- 6) 厚生労働省ホームページ 障害者白書平成23年度版.

<http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h23hakusho/zenbun/index.html>

(2011 年 12 月 19 日引用)

- 7) World Health Organization, 3 July 2003. Update 94: Preparing for the Next Influenza Season in a World Altered by SARS. <http://www.who.int/csr/disease/influenza/sars>. Accessed: 15 September 2003.

#### 巻，号，ページ数などが付いていないonline文献を引用する場合（DOIを記載）

- 8) Walker J, Kelly PT, Beckert L. Airline policy for passengers requiring supplemental in-flight oxygen. *Respirology* 2009 doi 10.1111/j.1440-1843.2009.01521.x

## 9. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳を記載する。

## 10. 機器名の記載法

機器名は，「一般名（会社名，製品名）」で表記する。なお，統計ソフトは「製品名，バージョン番号，会社名」で表記する。

## 11. 倫理審査の記載法

投稿原稿では委員会名は記載せず，承認番号のみの記載とする。最終原稿では委員会名，承認番号を明記する。

## 12. 謝辞

文中で謝辞を述べる際には，関係者同士が事前に確認し合い了解を得ることを前提とし，編集部はこれに関する一切の責務を負わないものとする。また当該研究の実施にあたって研究費助成を受けた場合は，その資金名およびその番号を記載する。なお，投稿者の特定に繋がらないように投稿時には空欄とすること。

付則

この規定は2021 年12 月16 日より施行する。

付則

この規定は2025 年 4月 1 日より施行する。

日本呼吸理学療法学会 編集委員会